



# にじいろ通信



## 新たな門出に❀

暖かな春の風が心地よく感じる4月、皆さんは不安と期待に胸を膨らませているのではないのでしょうか。

今年度もスクールソーシャルワーカー便り「にじいろ通信」を毎月1回程度お届けいたします。皆さんに少しでも自分たちを知ってもらい、一緒に考えていく…。そんな身近で話しやすい存在になれば嬉しく思います。

### ●○ SSW のお仕事は?? ○●

「なんだかうまくいなくて困っている・・・」そんな気持ちのお子さんやご家族が、家庭、学校、地域の「生活」の中で、ひとりで抱え込まないように、家庭・学校・地域の様々な人たちと一緒に考えます。元気に、または悩みながら前に進むことが出来るようサポートします。

### ●○どんな人が担当しているの?? ○●

#### ❖名 前

大久保 尚也

(おおくぼ なおや)



#### ❖自己紹介

本宮生活6年目、いのしし年の♂  
福島市出身⇒浜⇒中⇒会津⇒本宮へ

よく食べ、まれに楽器を吹く

某カラオケ店に出没 (UR)

♂ (燕) の野球チームが好き

#### ❖担 当 校

本宮二中・岩根小・五百川小・白沢中

糠沢小・関係保育所・幼稚園

#### ❖名 前

安齋 通子

(あんざい みちこ)



#### ❖自己紹介

福島市在住、とら年 (♀)

高校3年の娘と中学2年の息子がいます(^▽^)/

連勝中の格付けキングが大好きです♡

#### ❖担 当 校

本宮一中・本宮小・本宮まゆみ小

白沢中・白岩小・和田小

関係保育所・幼稚園

### 今月の学校訪問予定について

今月は各幼・保・小中との打ち合わせを主な予定としています。ご相談などは随時対応いたしますので、ご連絡ください。

SSW イラスト：安齋 由麻 (本宮市役所)

## 特別寄稿 「外も内も超えて、結び合う世界」

「一緒に考えてもらうことは何よりありがたい」

このような声を聞くたび、本宮市のスクールソーシャルワーカーへの信頼が深まっていることをうれしく思うとともに、スクールソーシャルワーカーが必要とされるという意味について、改めて考える機会をいただいています。

その一方、「外部の立場からスクールソーシャルワーカーに参加してほしい」など、「外部」というワードを耳にするたび、まだまだ、教育行政が学校現場における「内部」となっていないことを反省するとともに、子どもの幸せを共に考える「仲間」となるために、その距離感を少しでも縮められるよう力を尽くしてかなければならないと強く感じています。

学校が子どもにとって重要な場所であることは、これから先も変わりませんが、子どもを支える支援者は多く存在しています。様々な支援者が、それぞれの役割を尊重しつつ、重なり合いやつながり合いながら、一層の連携を進めていくことを切に願います。

さて、いささか手前味噌な言い方にはなりますが、本宮市のスクールソーシャルワーカーは、「感じること」を大切にしながら、毎日のように学校をはじめとして様々な現場へ足を運びます。

問題を直に見ること、

顔を合わせてお話をすること、

場の空気を肌感覚で捉えること、

その苦しみに寄り添い共に考えること

そして最後は笑顔が生まれること

人にかかわる仕事に垣根はなく、みなを支える者であり、時には、誰もが支えられる側でもあります。このことは、古くから伝わる「結（ゆい）」という助け合いの文化が示すとおり、それは、まさに外部と内部という分断の考えではなく、共に歩む仲間としての連続的（スペクトラム）な関係と捉えられますがいかがでしょうか。

「困っている人がいたらその声を聞き、

その思いに寄り添い、共に考え、時に立ち止まり、また、共に歩き出す」

令和2年度、今まで以上に、子どもを取り巻く様々な人々が、柔らかくでしなやかな「結」の関係を紡ぎ、みんなで子どもの幸せを支えていくことを心より願っています。

令和元年度 指導主事 渡辺 博明

